

「地域の安心・安全情報基盤に関する研究会」開催要綱（案）

1 背景・目的

災害発生時等においては、情報が国民に分かりやすい形式で迅速かつ的確に伝えられることが不可欠である。また、近年のICTの技術進歩により、伝達する手段の高度化・多様化が図られている。

そこで、災害時の情報をはじめ、国民生活に不可欠な安心・安全に関する情報について、できるだけ多くの情報源から必要かつ正確な情報を収集する方策や、地上デジタル放送をはじめ多様なメディアの活用方策など、安心・安全に資する情報基盤の在り方等について検討する。

2 名称

本会の名称は「地域の安心・安全情報基盤に関する研究会」とする。

3 検討事項

- (1) 災害情報の提供を中心にした実証モデルの企画、検証
- (2) 各種事業者が参画できる情報基盤の在り方についての検討
- (3) 災害情報の提供を中心にした全国モデルの検討
- (4) その他

4 構成・運営

- (1) 本会は、大臣官房総括審議官（政策評価・広報担当）の研究会として開催する。
- (2) 本会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 本会に、座長及び座長代理を置く。
- (4) 座長は、構成員の互選により定め、座長代理は座長が指名する。
- (5) 座長は、本会を招集し、主宰する。
- (6) 座長代理は、座長を補佐し、座長不在の時には、座長に代わって本会を招集し、主宰する。
- (7) 座長は、必要に応じ、外部の関係者の出席を求め意見を聴くことができる。
- (8) 座長は、上記の他、本会の運営に必要な事項を定める。

5 庶務

本会の庶務は、関係課室の協力を得て、大臣官房企画課が行う。

(別紙)

「地域の安心・安全情報基盤に関する研究会」構成員（案）

(敬称略、五十音順)

- 岡田 円治 日本放送協会編成局長
- 音 好宏 上智大学文学部教授
- 後藤 滋樹 早稲田大学理工学術院教授
- 芝 勝徳 神戸市外国語大学教授
- 中瀬 憲一 兵庫県防災監
- 中村 功 東洋大学社会学部教授
- 本庄 克彦 日本電信電話株式会社研究企画部門チーフプロデューサー
- 山内 正 岐阜県防災対策監
- 吉井 博明 東京経済大学コミュニケーション学部教授
- 渡辺 興二郎 社団法人日本民間放送連盟報道委員会委員・報道小委員会委員長